



優秀賞

(総合部門)

タイトル

のびやかな暮らしのために

タイプ

持家一戸建

講評

車椅子を使う施主の暮らしに合わせながら、少しずつ改修した過程は、同様なリフォームを考える時大変参考になる。綿密なプランや細やかな工夫が随所に見られるなど、使いやすさとデザインが両立している。

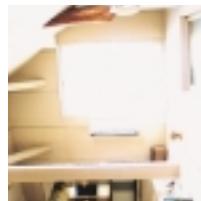
リフォーム前後の写真



リフォーム前 A'



D



E



G



リフォーム後 A



C



F



B

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など

- ・築29年の老朽化した水回りをリフォームするにあたり、建てこんだ市街地に暮すため断熱性や遮音性を向上させ、高齢になっても使いやすく、長く住み続けられるユニバーサルな家を目指しての大規模なリフォームです。
- ・4.8㎡のみの増築なので、家具は屋根裏へ移動し、必要なもののみ造り付としました。外部に面していた窓を閉じる代わりに6帖分を吹抜として、隠れていた丸太の梁を見せたり天窓を取付たので、予想以上に明るく開放感のあるリビングが生まれました。
- ・設備器具類は既成のユニットは使わず、車いすで生活する施主のために、動線計画、設定高さ、水栓など1カ所ずつ検討を重ねました。サニタール

- ームは、新築当初から使い慣れた3イン1の形式を踏襲し、不便な所、危険な所をなく、寝室～サニタリー間に走行レール用の梁を入れました。
- ・仕上材は壁及び天井、建具はすべてシナベニヤ サンドベージュ色の自然塗料) 床はチーク 衛生陶器はすべて白を使って統一しています。
- ・住み続けながら、仮設を作らず一呼吸ずつおきながら4期に分けたため、工期は長くなりましたが、リフォームの醍醐味を存分に味わえたのでは? と思います。完了から、四季の移り変わりを2周近く経過した現在「人 車」植物も、のびやかな暮らしを満喫しておられる様子です。

特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他 ()

データ

所在地	福岡県福岡市	構造 / 築後年数	在来木 造 / 29 年
該当工事面積	60.94 m ²	該当部分工事費	1,200 万円
居住者構成	2 人 (大人 15歳以上)	2 人 子供	人) ペット 犬1匹
設計者	安永建設(株)	担当者	岡部 範子
施工者	同上	担当者	金森 晃

リフォーム前

リフォーム後

